

# Mètis

伊東宣明  
ITOHI Nobuaki

中田有美  
NAKATA Yumi

佐藤雅晴  
SATO Masaharu

高須健市  
TAKASU Kenichi

ヒョンギョン  
Hyon Gyon

Weast

京芸Transmit Program #3

## Mètis -戦う美術-

2012. 4.7 土 - 5.20 日

11:00-19:00 (最終入館18:45)

会場 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA1,2 \*4/18よりGalleryB,Cでも展示

入館無料(4月30日(月祝)は開館、翌1日(火)休館)

月曜休館

主催 京都市立芸術大学

@KCUA

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY  
京都市立芸術大学ギャラリー・アーク【堀川御池ギャラリー内】

# Mètis -戦う美術-

2012. 4. 7日(土) - 5. 20日(日)

「たいいでい日常実践(話すこと、読むこと、道の往來、買い物したり料理したりすること、等々)は戦術的なタイプに属している。そればかりでなく、もっとひろく、大部分の「もののやりかた」もそうである。このうえない「強者」(権力者、病い、現実や体制の暴力、等々)を相手に「弱者」が成功をおさめるのもそうならば、うまい手をつかうのも、離れ業をやつてのけるのも、「狩猟家が罠をはるのも、臨機応変のかけひきも、変身自在な状態もそうであり、詩だろうと、戦争だろうと、あつと言わせるひらめきがそうである。このように事をあやつる仕業は、はるか昔の如くに属している。ギリシャの人びとはそれを「メティス(Mètis)」とよんでいた。」

ミッシェル・ド・セルトー 「日常実践のポイエティック」

本展は、今まさに飛躍しようとする若手作家に焦点を当てた、ギャラリー@KCUAの独自企画による展覧会の第三弾です。日常社会や常識など、あたりまえだったはずの世界が大きく揺らいでいる現在、「私たちが生きてゆくために、どうすれば日々の営みを意義あるアクションに変えてゆくことができるのか?」をテーマに、独自の表現を追求する5組の作家を紹介いたします。出品作家たちは、絵画、映像、立体、パフォーマンス、インスタレーションなど多岐にわたる形式を往還できる柔軟性をもつと同時に、観衆との親和性の高い表現を得意としています。また、本展は作家たちの普段の生活にもスポットを当てた、一種のオムニバス形式のドキュメンタリーとして構成されます。作家の日常を捉えた映像や会期中に開催されるイベントなどを通じて、作家たちは様々なスタイルで自らの日常に向き合い、世界と対峙し、日常実践のための方法論を模索します。

## Event

4月7日(土) 16:00

アーティストトーク

伊東宣明 × 中田有美 × 佐藤雅晴 × 高須健市 × ヒョンギョン × Weast

4月7日(土) 17:00

オープニングレセプション (with 白箱ZOO)

会期中週末(日程未定)

出品作家企画によるイベント(詳細は随時WEBにて更新していきます)  
http://www.kcua.ac.jp/gallery/

4月28日(土) 19:00 (予定)

ART KYOTO 2012連携企画 @KCUAナイト

松本俊夫オムニバス映画三部作上映会『螳螂の斧』

松本俊夫の最新作となるオムニバス映画を一挙上映。



1. 伊東宣明「預言者」(ビデオ・サウンドインスタレーション) 2011 / 2. 中田有美「ばらいそ」2010-2011 / 3. 佐藤雅晴「SAKURA」(アニメーション) 2011 / 4. 高須健市「参考画像」(インスタレーション) 2010 / 5. ヒョンギョン「参考画像」(インスタレーション) 2011 / 6. Weast「Break Through」(ビデオ作品) 2012

**伊東宣明**  
Itoh Nobuaki  
1981年奈良県生まれ。祖母や自称預言者の言葉をシミュレートすることで自己と他者、生と死の根源的関係を問いつける。2007年、第10回岡本太郎現代芸術賞入選、2010年「レゾナンス 共鳴 人と響き合うアート」(サントリーミュージアム/大阪)に出品。

**高須健市**  
Takasu Kenichi  
グラフィックアイドルやブランドロゴといった、氾濫するイメージの破壊を通して、逆にそこに隷属する私たちの欲望をあらわにする。2009年、大阪中津の自宅にART SPACE ZERO-ONEを開設、自ら作品を発表する他、ジャンルをクロスオーバーした様々な展覧会やイベントをプロデュースする。

**中田有美**  
Nakata Yumi  
1984年奈良県生まれ。ごく私的な家族のドラマを神話世界に拡張して、人間の生のリアリティを描き出す。2009年、トーキョーワンダーウォール公募2009入選。2011年、若手女性アーティストを起用した企画「LUMINE meets ART ~ WOMANS~」(ルミネ新宿)にも出品。

**ヒョンギョン**  
Hyon Gyeon  
1979年韓国生まれ。異国での淡々とした日々の繰り返しの中に祖国の「恨(ハン)」のエネルギーを蓄積し、吐き出す。2012年アジアン・アート・ミュージアム(サンフランシスコ)にてグループ展「Phantom of Asia」に参加、2012年度京都市芸術文化特別奨励者。

**佐藤雅晴**  
Sato Masaharu  
1973年大分県生まれ。デジタルツールを駆使したペインティングによるアニメーションにより、3.11以後の平凡な日常風景に潜む不安を浮き上がらせる。2009年「第12回岡本太郎現代芸術賞」特別賞、2012年「第15回文化庁メディア芸術祭」審査員推薦作品賞。

**Weast**  
東京在住の村上裕(1983年静岡県生まれ)と京都在住の田中良(1981年大阪府生まれ)によるアーティスト・デュオ。2010年8月結成。日常の何気ない対話やふれ合いを過激に増幅させ、一見ユーモラスなパフォーマンスの中に我々がアクティブに生きるための問いを投げかける。

@KCUA

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY  
京都市立芸術大学ギャラリー・アーク [堀川御池ギャラリー内]

地下鉄「二条城前」駅(2番出口) 徒歩約3分  
市バス「堀川御池」バス停下車すぐ  
京都市中京区油小路通御池押小路町 238-1  
〒604-0052 http://www.kcua.ac.jp/gallery/  
お問い合わせ: 教務学生支援室 tel.075-334-2204

